

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

外傷全身CT撮影における被ばく線量（CTDIvolとDLP）の実態調査

2. 研究の対象患者

2017年10月10日から2017年11月30日の間に、CT検査にて、外傷全身CT（頭部から少なくとも骨盤部まで）を撮影された患者さん。

3. 研究の対象期間

2017年10月10日～2017年11月30日

4. 研究の概要

医療被ばく研究情報ネットワーク（Japan Network for Research and Information on Medical Exposure: J-RIME）により、2015年に日本初となる医療被ばくの線量指標を示した診断参考レベル（DRLs 2015）が発表されたことにより、国内の各施設では、この数値を参考とし放射線防護への関心が高まっているが、外傷全身CT撮影に関する診断参考レベルは発表されていない。

本研究では、外傷全身CTを施行された症例の被ばく線量（CT装置に表示されるCTDIvol [mGy] とDLP [mGy・cm]）の全国調査を行い、国内における外傷全身CTの被ばく線量の現状を把握するとともに、調査Dataを基に国内の外傷全身CTの診断参考レベルの指標策定を目指す。

5. 研究実施予定期間

2017年10月10日～2017年11月30日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ①背景情報：年齢、性別、身長、体重、ISS（多発外傷の重症度スコア）
- ②撮影された部位、造影検査での撮影時相（1相撮影or多相撮影）
- ③CT検査終了後に装置に表示されるCTDIvol [mGy]、DLP [mGy・cm]

7. 外部への試料・情報の提供

メール

8. 研究組織

日本救急医学会のホームページ参照 <http://www.jaam.jp/html/shisetsu/qq-center.htm>

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者：放射線科 津田 守
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

神戸赤十字病院 放射線科部 宮安 孝行